

第1回 品質保証分科会 議事録

1. 日 時 平成14年3月7日(木) 10:30～12:00

2. 場 所 日本電気協会 4階 A, B会議室

3. 出席者(敬称略,五十音順)

出席委員:唐澤(東京電力),川尻(電源開発),久保田(核燃料サイクル開発機構),先田(四国電力),佐々木(中国電力),佐藤(東京商船大学),白石(三菱電機),鈴木(中部電力),平(日本製鋼所),谷本(九州電力),中村(北陸電力),長崎(三井造船),平野(日立),宮越(三菱重工),村上(東北電力),渡邊邦道(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン),渡辺雅明(NSネット)

代理出席委員:熊野(発電設備技術検査協会黒川委員代理),若松(石川島播磨重工業寺崎委員代理),小林(東芝清水委員代理),高橋(富士電機小林委員代理),松村(北海道電力滝谷委員代理),山崎(日本原子力発電樋口委員代理),綿田(関西電力柳委員代理)

欠席委員:飯塚(東京大学)

常時参加:山崎(日本原子力発電福地代理)

欠席の常時参加:福良(東京電力)

事務局:浅井,堀江,小宮,國則,平田,福原(日本電気協会)

オブザーバ:参加無し

4. 配付資料

資料 No.1-1 原子力規格委員会の活動経緯について

資料 No.1-2 原子力規格委員会 品質保証分科会 活動実績及び平成14年度活動計画(案)

資料 No.1-3 分科会 規格改廃要否検討結果(案)

5. 議事

(1) 会議定足数の確認・第1回分科会開催主旨説明

- ・事務局より,委員総数25名に対し本日の委員出席者数24名で,会議開催条件の「委員総数の3分の2(17名以上)の出席」を満たしており,会議成立の確認があった。
- ・事務局より,原子力規格委員会発足後初めての公開の分科会として、分科会長の選任、副分科会長、幹事の指名 指針制・改定の要否等を含めた品質保証分科会の活動計画等の審議を主要目的として開催する旨の説明があった。

(2) 議事次第 (案) と配付資料の確認

事務局より、当日の議事次第 (案) と配布資料の確認があった。

(3) 原子力規格委員会の活動経緯の説明

事務局より、資料 No.1-1 に基づき原子力規格委員会の活動経緯などについての説明があった。

(4) 分科会委員自己紹介

各委員から自己紹介があった。併せて事務局より、行政庁への分科会委員参加依頼の現状および今後の対応についての説明があった。

(5) 分科会長の選任

渡邊邦道委員より分科会長候補者として唐澤委員の推薦があり、他に分科会長候補者の推薦がないことを確認した後、単記無記名投票を行った結果、出席委員総数 24 名に対し、唐澤委員への投票数 23 票で唐澤委員が分科会長に選任された。

(6) 副分科会長および幹事の指名

唐澤分科会長より、副分科会長に宮越委員が、幹事に渡邊邦道委員が指名された。

(7) 分科会長、副分科会長及び幹事挨拶

唐澤分科会長、宮越副分科会長及び渡邊邦道幹事から、就任にあたっての挨拶があった。

(8) 原子力規格委員会 品質保証分科会 平成 13 年度活動実績紹介、平成 14 年度活動計画 (案) および規格改廃要否検討結果 (案) 審議

資料 No.1-2, No.1-3 に基づき、渡邊邦道幹事から、原子力規格委員会 品質保証分科会の平成 13 年度活動実績の紹介と、平成 14 年度活動計画 (案) および規格改廃要否検討結果 (案) の提案があった。

以上の提案を受け分科会として検討した結果、平成 14 年度活動計画 (案) として、

1 . JEAG4101-2000 年版基本事項改定検討

2 . 同指針の英語版 (案) 作成

3 . ISO9000 シリーズ (2000 年改訂版) と JEAG4101-2000 年版の相違点の検討の 3 点とすることを確認した。また、参考事項編を基本事項の運用基準にすべく見直す件は重要、かつ、必要である。しかし、見直しには時間がかかることから基本事項の改訂素案ができたところでどう進めるか再検討することとした。また、急ぎ検討する必要のある基本事項編の改定素案が出来た時点で、次回分科会を開催する方針で進めることとした。上記を平成 14 年度活動計画とする条件で、「平成 13 年度活動報告並びに平成 14 年度

活動計画（案）」および「分科会規格改廃要否検討結果（案）」について挙手による決議の結果，賛成 24 名，反対 0 名で承認された。「平成 13 年度活動報告並びに平成 14 年度活動計画（案）」および「分科会規格改廃要否検討結果（案）」をこれに基づいて修正する。

6．その他

- ・ 渡邊邦道幹事から JEAG4101 改定版の早期発行に関連して，今後の原子力規格委員会の開催予定について質問があり，事務局より次回の開催は 3 月 26 日で，次々回委員会の開催は，委員会開催が年 4 回の頻度であることから 6 月頃となる可能性が高いこと，規格改定の議案決議には委員会による 1 ヶ月（程度）の書面投票期間が必要であり，決議後内容公表の手続きと，その後 2 ヶ月間の公衆審査期間を経て最終承認となる旨の説明があった。
- ・ 次回分科会は，JEAG4101-2000 年版基本事項編改定素案の作成を踏まえて開催する予定。

以　上